

平成21年度食品の安全・安心リスクコミュニケーション（意見交換会）の概要

【目的】

消費者と生産者、行政による食品に関する意見交換会を行い、食品安全確保に関する情報を共有し、相互理解を深めることを目的に実施。

【対象者】

消費者：生協会員、婦人会会員、生活学校会員、食生活改善推進員、食品ウォッチャー、学生等

生産者：農林漁業者、製造加工流通業者等

【実施結果】

開催回数：全9回 参加者総数：587名

実施日	実施地区	テーマ	研修施設等	参加者数	主な意見等
H21.8.11	県北	お茶と食品安全について	圃場(お茶)・製茶工場 (日本茶教室の開催)	消費者 37名 生産者 1名 行政 7名	・お茶の保存方法について ・その他 子供19名(1名を除き小学生)を含む。
H21.8.24	県央	お肉と食品安全について	ウイナー手作り体験の開催	消費者17名 生産者 4名 行政 7名	・添加物を使わない製造方法はあるのか。 ・餌によって肉質は変わるのか。 ・その他 小学生10名を含む。
H21.9.3	県央	食品の安全性に関する地域の指導者育成講座	-	62名	内閣府の協力のもと、以下のとおり実施 ・講演「食品安全のためのリスク分析について」 ・演習「ゲーミングシミュレーション(クロスロード『食の安全編』)」
H21.10.2	長崎	みんなで考えよう「輸入食品の安全性」	-	163名	・輸入食品の安全性確保 ・遺伝子組み換えでない旨の表示は信用できるのか。 ・残留農薬の安全性
H21.10.10	県南	農産物(野菜)の安全性	レタス栽培圃場	78名	・農薬を減らすための対策 ・農産物の安全性 ・農薬の安全な使用方法 大学生23名を含む。
H21.10.22	県央	農産物(野菜)の安全性	圃場、アスパラ選果場	消費者13名 生産者 8名 行政 12名	・GAPへの取り組みについて ・地産地消の推進 ・農薬の安全性
H21.11.25	香岐	流通販売における食品の安全安心確保	流通販売施設	消費者18名 生産者 1名 行政 4名	・店舗(大型店と個人店の違いなど)における衛生管理、品質管理について ・保健所の監視指導状況について ・地産地消について
H22.1.21,22	長崎	食品の安全性に関するリスクコミュニケーション育成講座	-	26名	内閣府との共催により、以下のとおり実施 ・講座「食品安全とリスク認知」 「リスク評価を理解するために」 「わかりやすく伝えるための場作り」 ・演習(「アフタヌーンカフェ～「安全な食べもの」って何だろう?～」の開催)
H22.3.1	佐世保	みんなで考えよう「農薬のこと」	-	129名	・農薬使用に際しての農家への指導について ・減農薬への取組がわかる食品表示について ・防除技術について